

# 南小だより

[minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp](mailto:minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp)

令和4年7月1日

7月号

さいたま市立南浦和小学校  
電話 048-861-3781



努力に即効性はない。でも努力は裏切らない。

校長 小野 圭司

保護者の皆様におかれましては、過日の懇談会にご多用の中、お越しいただき、ありがとうございました。その折に、教室等に掲示されている硬筆の作品をご覧いただいたことと思います。手本をよく見て集中して取り組んでいる我が子の姿を想像された方も多かったのではないのでしょうか。

私は常々、本校の子どもたちは日々の授業で丁寧に文字を書いている子が多いなあと感じています。特に低学年でその傾向が強いです。高学年になるとノートに視写するスピードも求められるため、なかなか難しいところではありますが、黒板に書いてあることや自分の考えたことをノートに一文字一文字、大きくはっきりと書いている子が多いです。毎日、そのようなことを繰り返すことにより、文字の輪郭を見る目、細部まで細かく見る目が養われていくのではないかと思います。そして、日頃から丁寧に文字を書いている子が、硬筆展でもよい成果が表れているのは嬉しいものです。

さて、元プロ野球選手の野村克也さんが次のような言葉を述べています。「努力に即効性はない。でも努力は裏切らない。」です。正に私が述べてきたことに合致するような言葉だと思います。また、書写を担当している教員に話を聞いたところ、「書道は秩序を学ぶことだ」という話を聞いたことがあるとのこと。子どもたちも硬筆に取り組むことで、用具の準備からそれを置く場所や姿勢、しんとした雰囲気、書き順など、物事には順序やきまりがあることを、自然と学んでいくのではないかと思います。

令和4年度は「スマイル大作戦」を合言葉に教育活動を進めており、「ス」「マ」「イ」「ル」のうちの「イ」では、「一生懸命、粘り強くチャレンジする学校」を目指しています。この「粘り強く」に関連するのが、表題の「努力に即効性はない。でも努力は裏切らない。」でしょうか。

また、6月17日（金）には、文蔵小学校の6年生が来校し、本校の体育館で親善バスケットボール大会を実施しました。本校6年生は、学校の代表として素晴らしい態度で参加をしました。こちらにも即効性はありません。これまで先輩たちの態度を見て憧れてきた現6年生。兄弟学級と活動する「ふれあいタイム」や登校班等での異学年との交流を通して、最上級生としての自覚をもって生活しているからこそその成果だと思います。

例年にも増して暑い本格的な夏がやってきました。感染症の予防はもちろん、熱中症の予防は「粘り強さ」だけでは対応できません。6月3日（金）に配信した学校安心メール「学校生活における児童のマスク着用について」のとおり、マスクを外す場合のポイントとして「熱中症対策を優先すること」や「屋外であること」、「人と十分な距離を確保していること」、「会話を控えていること」等を挙げています。1学期も残りわずかとなりましたが、子どもたちの健康や安全に留意しながら、日々の教育活動を実施してまいります。保護者の皆様、地域の皆様も健康や安全に留意しながら、お過ごしください。